

当院医療スタッフのがんに関する臨床研究一覧（2006年～2008年）

他施設との共同研究の場合は、当院スタッフを太字アンダーラインで示してあります。

【胃がん】

〈論文発表〉

- (1) Nomura S, Nakajima A, Ishimine S, **Matsuhashi N**, Kadowaki T, Kaminishi M.
Differential expression of peroxisome proliferator-activated receptor in histologically different human gastric cancer tissues. J Exp Clin Cancer Res. 2006 Sep;25(3):443-8.
- (2) **Y. Otsuka**, Y. Ichikawa, C. Kunisaki, G. Matsuda, H. Akiyama, M. Nomura, S. Togo, Y. Hayashizaki, H. Shimada. Correlating purity by microdissection with gene expression in gastric cancer tissue. Scandinavian Journal of Clinical and Laboratory Investigation. 2007 ; 67(4) : 367-379.

〈学会発表〉

- (1) 野家環, 大塚裕一, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. 進行再発胃癌化学療法の実況と問題点. 於 : 第108回日本外科学会定期学術集会 ; 5. 16, 2008 ; 長崎.
- (2) 大塚裕一, 伊藤契, 野家環, 小西敏郎. EMR/ESD後にLADGを行った胃癌手術症例の検討. 於 : 第21回日本内視鏡外科学会. 9. 3-4;2008 ; 横浜, 11th World Congress of Endoscopic Surgery ; Sept 2-5, 2008 ; Yokohama, 第70回日本臨床外科学会総会 ; 11. 27-29, 2008 ; 東京.
- (3) 野家環, 大塚裕一, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. 進行再発胃癌化学療法—胃癌外来化学療法におけるクリニカルパスの意義についての検討—. 於 : 第70回日本臨床外科学会総会 ; 11. 27-29, 2008 ; 東京.
- (4) 宮本洋, 野家環, 大塚裕一, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. 進行再発胃癌化学療法著効例の検討. 於 : 第81回日本胃癌学会総会 ; 3. 6, 2009 ; 東京.
- (5) 大塚裕一, 伊藤契, 野家環, 奈良智之, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. [ポスター]腹腔鏡補助下胃切除を行なったリンパ節転移陽性胃癌症例の検討. 於 : 第81回日本胃癌学会総会 ; 3. 6, 2009 ; 東京.
- (6) 愛甲丞, 野村幸世, **松橋信行**, **郡司俊秋**, 小川雅子, 上西紀夫, Goldenring. 血清TFF2値と胃癌発生の関係. 於 : 第18回日本消化器癌発生学会総会 ; 2007, 11. 8 ; 札幌.
- (7) 大塚裕一, 野家環, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. cT4胃癌に対する治療戦略 : pT4胃癌の成績から. 於 : 第62回日本消化器外科学会定期学術集会 ; 07. 18-20, 2007 ; 東京.
- (8) 小野秀高, 國崎主税, 牧野洋知, 小坂隆司, 大塚裕一, 野村直人, 秋山浩利, 嶋田紘. POCY1, P1胃癌に対する治療戦略 [口演]. 於 : 第62回日本消化器外科学会定期学術集会 ; 7. 19, 2007 ; 東京.
- (9) 大塚裕一, 野家環, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 堀内啓, 松谷章司, 小西敏郎. サイトケラチン染色により検出される胃癌微小リンパ節転移の臨床的意義. 於 : 第45回日本癌治療学会総会 ; 10. 24-26, 2007 ; 京都. 於 : 第80回日本胃癌学会総会 ; 02. 29, 2008 ; 横浜.
- (10) 野家環, 大塚裕一, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. 進行再発胃癌3rd line化学療法としてCPT-11/CDDP療法の成績. 於 : 第45回日本癌治療学会総会 ; 10. 24-26, 2007 ; 京都.
- (11) 秋山浩利, 小野秀高, 牧野洋知, 大塚裕一, 松田悟郎, 國崎主税, 嶋田紘. 進行胃癌に対する大動脈周囲リンパ節郭清の意義. 於 : 第45回日本癌治療学会総会 ; 10. 26, 2007 ; 京都.
- (12) 野家環, 大塚裕一, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. 根治切除不能胃癌における外科的治療戦略. 於 : 第69回日本臨床外科学会総会 ; 11. 29-12. 01, 2007 ; 横浜.

- (13)野家環, 大塚裕一, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. 胃癌術後フォローアップ様式検討のための胃癌術後再発症例の検討 [ポスター]. 於: 第80回日本胃癌学会総会; 02. 29, 2008; 横浜.
- (13) 野家環, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. スキルス胃癌治療成績の検討. 於: 第61回日本消化器外科学会定期学術総会; 7. 13-15, 2006; 横浜.
- (14) 門田一晃, 野家環, 大塚裕一, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. 当科における上部胃癌に対する噴門側胃切除術の検討. 於: 第80回日本胃癌学会総会; 02. 29, 2008; 横浜.
- (15) 野家環, 大塚裕一, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. パネルディスカッション 外来化学療法の現況と問題点「胃癌の外来化学療法におけるパスと電子カルテの有用性」. 於: 第76回日本胃癌学会総会; 3. 1, 2007; 名古屋.
- (16) 大塚裕一, 野家環, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. pT4 胃癌の治療成績から考える多臓器直接浸潤胃癌に対する治療戦略. 於: 第76回日本胃癌学会総会; 3. 1, 2007; 名古屋.
- (17) 坪本貴司, 野家環, 大塚裕一, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. 要望演題: 再発胃癌に対する外科治療「当院における再発胃癌症例に対する外科療法の検討」. 於: 第76回日本胃癌学会総会; 3. 2, 2007; 名古屋.
- (18) 大塚裕一, 野家環, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. pT4 胃癌の治療成績から考える他臓器直接浸潤胃癌に対する治療戦略 [口演]. 於: 第79回日本胃癌学会; 3. 2, 2007; 名古屋.
- (19) 門田一晃, 野家環, 大塚裕一, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. 進行再発胃癌に対する2nd line chemotherapyとしてのweekly paclitaxel療法の検討. 於: 第76回日本胃癌学会総会; 3. 3, 2007; 名古屋.
- (20) Kyoko Ogawa, Tamaki Noie, Satoshi Nara, Kei Itoh, Kaoru Furushima, Yasushi Harihara, Toshiro Konishi. Evaluation of multimodality therapy for liver metastasis of gastric cancer. at: First Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association, 2007; 3. 22, 2007; Fukuoka, Japan.
- (21) 伊東友弘, 大谷友彦, 久富勘太郎, 遠藤宏樹, 近藤靖之, 蓮江智彦, 塙勝博, 朝山雅子, 柴田実, 松橋信行, 桜井幸弘. 最近の胃癌化学療法の検討. 於: 第48回日本消化病学会大会. (2006. 10. 11-14; 札幌)

肺がん

〈論文発表〉

- (1) Inoue A, Kobayashi K, Usui K, Maemondo M, Okinaga S, Mikami I, Ando M, Yamazaki K, Saijo Y, Gemma A, Miyazawa H, Tanaka T, Ikebuchi K, Nukiwa T, Morita S, Hagiwara K First-Line Gefitinib for Patients With Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer Harboring Epidermal Growth Factor Receptor Mutations Without Indication for Chemotherapy. J Clin Oncol. 2009;27(9):1394-400.
- (2) Inoue A, Usui K, Ishimoto O, Matsubara N, Tanaka M, Kanbe M, Gomi K, Koinumar S, Saijo Y, Nukiwa T. A phase II study of weekly paclitaxel combined with carboplatin for elderly patients with advanced non-small cell lung cancer. Lung cancer. 2006; 52:83-87.

〈学会発表〉

- (1) K. Kobayashi, A. Inoue, K. Usui, M. Maemondo, S. Okinaga, I. Mikami, M. Ando, A. Gemma, S. Morita, K. Hagiwara First-line gefitinib for poor PS patients with EGFR mutations. At:2008 ASCO Annual

meeting;May 20, 2008;U. S. A.

- (2) M. Maemondo, A. Inoue, S. Sugawara, T. Ishida, K. Usui, T. Abe, M. Kanbe, H. Watanabe, Y. Saijo, T. Nukiwa, North Japan Lung Cancer Study Group Randomized, phase II trial comparing carboplatin (C) and tri-weekly paclitaxel (tP) with C and weekly paclitaxel (wP) in elderly patients (pts) with advanced non-small cell lung cancer (NSCLC). At: 2008 ASCO Annual meeting May 20, 2008;U. S. A.
- (3) 臼井一裕, 井上 彰, 小林国彦, 前門戸任, 沖永荘治, 植松和嗣, 安藤真弘, 山崎浩一, 西條康夫, 弦間昭彦, 貫和敏博, 荻原弘一. EGFR 遺伝子変異を有する PS 不良非小細胞癌 (NSCLC) に対する救済初回ゲフィチニブ療法. 於: 第 48 回日本呼吸器学会学術講演会; 6. 15, 2008; 東京.
- (4) 渡辺 洋, 井上 彰, 西條康夫, 榊原智博, 菅原俊一, 石本 修, 前門戸任, 松原信行, 石田 卓, 臼井一裕, 阿部達也, 神部眞理子, 山崎浩一, 武内健一, 似内郊夫, 井上千恵子, 貫和敏博. 高齢者進行非小細胞癌 (NSCLC) に対する CBDCA+TXL (一括投与法) と CBDCA+TXL (毎週投与法) との無作為化第 II 相試験. 於: 第 48 回日本呼吸器学会学術講演会; 6. 15, 2008; 東京.
- (5) A. Inoue, K. Kobayashi, K. Usui, M. Maemondo, M. Ando, A. Gemma, S. Morita, T. Nukiwa, S. Okinaga, K. Hagiwara. GEFITINIB PROVIDES AN BENEFICIAL TREATMENT TO POOR PS OR SUPER-ELDERLY PATIENTS WITH EGFR MUTATION-POSITIVE NSCLC (NORTH-EAST JAPAN GEFITINIB STUDY GROUP). At: 33rd ESMO Congress; 12-16, September, 2008; Stockholm.
- (6) 赤羽敦也, 石原照夫, 臼井一裕, 金澤 至. 小細胞肺癌に対する予防的全脳照射を用いない治療成績の検討. 於: 第 49 回日本肺癌学会総会; 11. 13, 2008; 北九州.
- (7) 臼井一裕, 井上彰, 菅原俊一, 原田真雄, 鈴木俊郎, 横内 浩, 前門戸任, 西條康夫, 貫和敏博. 高齢者小細胞肺癌に対するアムルピシン、カルボプラチン併用療法の第二相試験. 於: 第 49 回日本肺癌学会総会; 11. 13, 2008; 北九州.
- (8) 阿部典文, 山田典子, 臼井一裕, 野田裕通, 石原照夫. 肺癌に対する過剰手術症例の検討. 於: 第 49 回日本肺癌学会総会; 11. 14, 2008; 北九州.
- (9) 阿部典文, 山田典子, 臼井一裕, 石原照夫. GGO 病変に対する治療方針. 於: 第 49 回日本肺癌学会総会; 11. 14, 2008; 北九州.
- (10) 山田典子, 阿部典文, 臼井一裕, 野田裕道, 石原照夫. 悪性腫瘍に対する化学療法中に発症した気胸に対する治療. 於: 第 49 回日本肺癌学会総会; 11. 13, 2008; 北九州.
- (11) 菅原綾, 石田卓, 渡辺洋, 井上彰, 菅原俊一, 前門戸任, 臼井一裕, 阿部達也, 神部眞理子, 西條康夫, 貫和敏博. 高齢者非小細胞肺癌に対する CBDCA+TXL 週 1 回投与法と CBDCA+TXL 一括投与法との無作為化第 II 相試験. 於: 第 49 回日本肺癌学会総会; 11. 14, 2008; 北九州.
- (12) 阿部典文. 肺癌に対する VATS の適応について. 於: 第 70 回日本臨床外科学会総会; 11. 27, 2008; 東京.
- (13) 臼井一裕, 吉野友祐, 棚井千春, 野田裕道, 石原照夫. 進行肺癌の背景肺評価. 於: 第 47 回日本呼吸器学会学術講演会; 5. 10, 2007; 東京.
- (14) 臼井一裕, 野田裕道, 石原照夫. 喫煙歴別進行非小細胞肺癌の治療成績. 於: 第 48 回日本肺癌学会総会; 11. 9, 2007; 名古屋.
- (15) 阿部典文, 山田典子, 臼井一裕, 石原照夫. 肺癌の早期発見には胸部 XP と胸部 CT のどちらが有用性か? - 肺癌手術症例における検討 -. 於: 第 48 回日本肺癌学会総会; 11. 9, 2007; 名古屋.
- (16) 山田典子, 阿部典文, 臼井一裕, 野田裕道, 青木孝弘, 石原照夫. 肺癌に伴う癌性心膜炎の臨床的特徴と予後. 於: 第 48 回日本肺癌学会総会; 11. 8, 2007; 名古屋.

- (17) 阿部典文, 山田典子. LigaSure を用いた完全胸腔鏡下縦隔郭清の実際と問題点. 於: 第 20 回日本内視鏡外科学会総会; 11. 19, 2007; 仙台.
- (18) 赤羽敦也 他. 小細胞肺癌脳転移症例に対する治療戦略—予防的全脳照射は必要か— 於: 第 66 回日本脳神経外科学会総会; 2007 年 10 月 4 日; 東京.
- (19) 赤羽敦也、石原照夫、臼井一裕、金澤 至、森田明夫: 予防的全脳照射を用いない肺小細胞癌治療—脳転移を中心として—. 於: 第 12 回ガンマナイフ研究会; 2. 10, 2007; 大阪
- (20) 阿部典文, 山田典子. 右肺癌に対する完全胸腔鏡下手術でのリンパ節郭清の実際と問題点. 於: 第 8 回胸骨正中経路による肺癌手術懇話会; 4. 21, 2006; 東京.
- (21) 山田典子, 阿部典文, 石原照夫. 胸腔鏡下肺葉切除術から開胸へ移行する原因と対策についての検討. 於: 第 23 回日本呼吸器外科学会総会; 5. 25, 2006; 東京.
- (22) 阿部典文. 肺癌に対する VATS lobectomy で血管損傷により開胸に移行した 2 症例～VATS における血管処理の留意点と開胸移行基準～. 於: 第 68 回日本臨床外科学会総会; 11. 11, 2006; 広島
- (23) 阿部典文, 山田典子. 肺癌手術例の年齢別検討—高齢者は若年者に比較して手術は危険か?—. 於: 第 47 回日本肺癌学会総会; 12. 15, 2006; 京都.
- (24) 山田典子, 阿部典文, 石原照夫, 臼井一裕, 野田裕道, 棚井千春, 吉野友祐. 低肺機能患者に対する肺癌手術の適応についての検討と考察. 於: 第 47 回日本肺癌学会総会; 12. 15, 2006; 京都.
- (25) 臼井一裕, 吉野友祐, 棚井千春, 野田裕道, 石原照夫. 進行肺癌における背景肺評価: 肺気腫と間質性肺炎. 於: 第 47 回日本肺癌学会総会; 12. 14, 2006; 京都.

大腸癌

〈論文発表〉

- (1) 飯島佐知子, 針原康, 小西敏郎, 谷村久美, 福田敬. 大腸がん手術症例における手術部位感染予防対策の費用効果対策. 環境感染 2006; 21(2): 103-108.

〈学会発表〉

- (1) 三枝善伯, 寺谷卓馬, 松橋信行. 化学療法後の大腸癌肝転移に対する経皮的ラジオ波焼灼療法 (RFA). 於: 第 50 回日本消化器病学会大会 JDDW2008; 2008. 10. 1-4; 東京.
- (2) 大園研, 木庭郁朗, 松橋信行. 当院における大腸ESDの strategy (ビデオシンポジウム). 於: 第 75 回日本消化器内視鏡学会総会; 2008, 5. 24-26; 横浜.
- (3) 渡辺一輝. 大腸癌肝転移切除例における予後因子の解析と今後の治療戦略. 於: 第 108 回日本外科学会定期学術集会; 5. 15-5. 17, 2008; 長崎.
- (4) 星野明弘, 野家環, 佐藤彰一, 大塚裕一, 奈良智之, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. FOLFOX 等の新規抗癌剤登場後の大腸癌肝転移肝切除の位置づけの検討. 於: 第 45 回日本癌治療学会総会; 10. 24-26, 2007; 京都.
- (5) 古嶋薫, 奈良智之, 野家環, 伊藤契, 針原康, 小西敏郎. 大腸癌外来化学療法におけるリスク管理: 電子カルテレジメン機能と化学療法室の有用性. 於: 第 68 回日本臨床外科学会総会; 11. 9-11, 2006; 広島.
- (6) 小川京子, 古嶋薫, 奈良智之, 野家環, 伊藤契, 針原康, 小西敏郎. SM 大腸癌に対するリンパ節郭清の検討. 於: 第 66 回 大腸癌研究会; 1. 19, 2007; 大宮.

肝がん

〈論文発表〉

- (1) Teratani T, Yoshida H, Shiina S, Obi S, Sato S, Tateishi R, Mine N, Kondo Y, Kawabe T, Omata M. Radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma in so-called high-risk locations. Hepatology. 2006; 43: 1101-8.

〈学会発表〉

- (1) 竹内卓, 寺谷卓馬, 松橋信行. ラジオ波焼灼療法のクリティカルパス運用の実態 (ワークショップ) 於: 肝臓学会東部会; 2008, 12. 4; 東京.
- (2) 寺谷卓馬, 三枝善伯, 久富勘太郎, 大圃研, 大谷友彦, 松橋信行. 末梢レベルの門脈内腫瘍塞栓に対する経皮的ラジオ波焼灼療法. 於: 第 50 回日本消化器病学会大会 JDDW2008; 2008. 10. 1-4; 東京.
- (3) Takuma Teratani. Radiofrequency Ablation for liver cancer in high risk locations. at: 1st. Society of Interventional Oncology Symposium in Korea; June 23, 2007; Seoul.
- (4) 寺谷卓馬, 柳川達郎, 塙勝博, 松橋信行, 玉木克桂, 今田和希, 村山嘉延, 尾股定夫. 試作双極型電極によるラジオ波焼灼療法の試み. 於: 第 43 回日本肝癌研究会; 2007. 6. 21-22; 東京.
- (5) 寺谷卓馬, 柳川達郎, 塙勝博, 久富勘太郎, 朝山雅子, 廣川智, 大谷友彦, 遠藤宏樹, 川越圭, 松橋信行, 柴田実. クラスタリーニードルを用いた転移性肝癌に対する経皮的ラジオ波焼灼療法. 於: 第 93 回日本消化器病学会総会; 2007, 4. 19-21; 青森
- (6) Takuma Teratani, Radiofrequency Ablation with internally cooled cluster needle electrodes for metastatic liver tumor. 17th Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver (APASL); March 27-30, 2007; Kyoto.

乳癌

〈学会発表〉

- (1) 大塚裕一, 奈良智之, 野家環, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. 下側方腹直筋皮弁を用いた乳房再建. 於: 第 108 回日本外科学会定期学術集会; 5. 16, 2008; 長崎
- (2) 豊田達也, 寺原敦朗, 中川恵一, 馬場貞明, 青木昌幸. 乳房温存療法後の術後照射における照射野内側縁についての検討. 第 19 回日本放射線腫瘍学会学術大会. 2006/11/23-25; 仙台

脳腫瘍

〈文部科学省科学研究費〉

- (1) H19 年度 文部科学省科学研究費 萌芽的研究 課題番号 18659414 「ナノ粒子・収束超音波を用いた新しい脳腫瘍治療システムの開発」主任研究者 森田明夫

〈学会発表〉

- (1) 西村健吾 他. 悪性腫瘍に伴う脳梗塞についての検討. 於: 第 66 回日本脳神経外科学会総会; 2007 年 10 月 5 日; 東京. 於: 第 33 回日本脳卒中学会総会; 2008 年 3 月 22 日; 京都.
- (2) 森田明夫: 斜台錐体部髄膜腫の手術: 第 18 回日本頭蓋底外科学会 7 月 28 日 2006 年; 名古屋

食道癌

〈学会発表〉

- (1) 大塚裕一, 奈良智之, 野家環, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. 食道癌 m3/sml 症例の治療成績: 手術症例の報告から. 於: 第 62 回日本食道学会学術集会; 6. 22; 2008; 東京. 第 63 回日本消化器外科学会総会; 7. 17; 2008; 札幌.

- (2) 大塚裕一, 奈良智之, 野家環, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. Stage2 食道癌切除症例の治療成績と治療方針. 於: 第 61 回日本食道学会学術集会; 06. 21-22, 2007; 横浜.
- (3) 牧野洋知, 國崎主税, 中嶋雅之, 佐藤勉, 大島貴, 永野靖彦, 藤井正一, 秋山浩利, 野村直人, 大塚裕一, 小野秀高, 小坂隆司, 高川亮, 嶋田紘. 食道癌術後の至適な胃管再建術 [ポスター]. 於: 第 61 回日本食道学会学術集会; 06. 22, 2007; 横浜.
- (4) 門田一晃, 奈良智之, 大塚裕一, 野家環, 伊藤契, 古嶋薫, 針原康, 小西敏郎. 食道癌手術のクリニカルパスによる管理. 於: 第 69 回日本臨床外科学会総会; 11. 29-12. 01, 2007; 横浜.
- (5) 奈良智之, 小西敏郎, 古嶋薫, 針原康, 伊藤契, 野家環. 電子カルテ版食道切除再建術クリティカルパス. 於: 第 8 回医療マネジメント学会総会; 6. 17, 2006; 横浜.
- (6) 星野明弘 奈良智之 野家環 伊藤契 針原康 古嶋薫 小西敏郎. 電子カルテ版食道切除胸腔内再建術 CP. 於: 第 8 回日本医療マネジメント学会; 6. 16-17, 2006; 横浜.
- (7) 奈良智之, 小西敏郎, 古嶋薫, 針原康, 伊藤契, 野家環. 頸部郭清・開腹先行右開胸 食道亜全摘、器械吻合による高位胸腔内胃管再建術. 於: 第 60 回日本食道学会学術集会; 6. 30-7. 1, 2006.; 東京.
- (8) 奈良智之, 小西敏郎, 古嶋薫, 針原康, 伊藤契, 野家環. 胃切後食道癌切除における結腸再建の工夫. 於: 第 61 回日本消化器外科学会定期学術総会; 7. 13-15, 2006; 横浜.
- (9) 大塚裕一, 國崎主税, 山田六平, 小野秀高, 小坂隆司, 佐藤勉, 秋山浩利, 野村直人, 松田悟郎, 今田敏夫, 嶋田紘. 食道癌術後在宅経腸栄養の適切な終了時期についての検討. 於: 第 61 回日本消化器外科学会; 7. 14, 2006; 横浜.
- (60) 奈良智之, 小西敏郎, 大塚裕一, 古嶋薫, 針原康, 伊藤契, 野家環. 食道切除胸腔内胃管再建術の成績と諸問題. 於: 第 68 回日本臨床外科学会総会; 11. 9-11, 2006; 広島.
- (63) 大塚裕一, 奈良智之, 野家環, 伊藤契, 針原康, 古嶋薫, 小西敏郎. Stage3 食道扁平上皮癌切除症例に対する Nedaplatin+5FU を用いた術後補助化学療法の効果 [サージカルフォーラム]. 於: 第 68 回日本臨床外科学会総会; 11. 10, 2006; 広島.

膵がん

〈学会発表〉

- (1) 野家環, 針原康, 佐藤彰一, 大塚裕一, 奈良智之, 伊藤契, 古嶋薫, 小西敏郎. 術後 GEM 併用膵癌手術症例による長期生存例の検討. 於: 第 63 回日本消化器外科学会総会; 7. 17; 2008; 札幌.
- (2) 野家環, 針原康, 佐藤彰一, 大塚裕一, 奈良智之, 伊藤契, 古嶋薫, 小西敏郎. 膵癌切除症例での 2nd line 化学療法としての TS-1 の使用経験. 於: 第 46 回日本癌治療学会総会; 10. 30-11. 1; 2008; 東京.
- (3) 野家環, 針原康, 奈良智之, 伊藤契, 古嶋薫, 小西敏郎. 通常型膵癌切除後局所再発 CT 診断における静脈系狭小化所見の意義. 於: 第 107 回日本外科学会定期学術集会; 04. 11-13, 2007; 大阪.
- (4) 野家環, 針原康, 大塚裕一, 奈良智之, 伊藤契, 古嶋薫, 小西敏郎. Stage IVa 膵癌の治療戦略-当科における術後 GEM 併用による成績. 於: 第 62 回日本消化器外科学会定期学術集会; 07. 18-20, 2007; 東京.
- (5) 野家環, 針原康, 奈良智之, 伊藤契, 古嶋薫, 小西敏郎. 当科における通常型膵癌に対する Gemcitabine

による術後補助化学療法の成績. 於：第18回日本肝胆膵外科関連会議；5. 12, 2006；東京.

腎癌

〈学会発表〉

- (1) 亀山周二、中村真樹、渡邊淳一、大城方緒、山崎 哲. 腎腫瘍に対する腎温存手術の検討. 於：第94回日本泌尿器科学会総会、4. 13, 2006;福岡.

前立腺がん

〈学会発表〉

- (1) 河野義之, 首藤直樹, 皆川真吾, 山田大介, 渡辺淳一, 山崎 哲, 亀山周二. 前立腺全摘除術でpN(+)症例の検討. 於：第73回日本泌尿器科学会東部総会；9. 20, 2008；東京.
- (2) 中村真樹, 渡邊淳一, 皆川真吾, 山崎 哲, 亀山周二. 恥骨後式前立腺全摘除術後の尿失禁 国際尿失禁スコア (ICIQ-SF) を用いた検討. 於：第95回日本泌尿器科学会総会, ポスター. 4. 16, 2007；神戸.
- (3) 皆川真吾, 中村真樹, 渡邊淳一, 山崎 哲, 亀山周二, 伊藤 契. 恥骨後式前立腺全摘除術後(下腹部正中切開)に生じた鼠径ヘルニアの検討. 於：第95回日本泌尿器科学会総会, ポスター. 4. 16, 2007；神戸.
- (4) 皆川真吾, 中村真樹, 渡辺淳一, 山崎 哲, 亀山周二. 当院における下腹部横切開・無ドレーン法による恥骨後式前立腺全摘の試み. 於：第72回日本泌尿器科学会東部総会, ポスター. 8. 30, 2007；札幌.

子宮・卵巣がん

〈論文発表〉

- (1) Satoh T, Oki A, Uno K, Sakurai M, Ochi H, Okada S, Minami R, Matsumoto K, Tanaka YO, Tsunoda H, Homma S, Yoshikawa H. High incidence of silent venous thromboembolism before treatment in ovarian cancer. Br J Cancer. 2007;97:1053-1057.
- (2) 角田 肇. 【快適な術後経過のための工夫と対応】 婦人科がんリンパ節郭清に骨盤後腹膜縫合は必要かわれわれが行ったランダム化比較試験の成績から. 産科と婦人科. 2008; 2:169-175.

血液腫瘍

〈論文発表〉

- (1) Hideki Nakasone, Koji Izutsu, Satoshi Wakita, Hiroki Yamaguchi, Michiko Muramatsu-Kida, Kensuke Usuki. Autologous Stem Cell Transplantation with PCR-Negative Graft Would Be Associated with a Favorable Outcome in Core-Binding Factor Acute Myeloid Leukemia. BBMT 2008, 14(11); 1262-1269.
- (2) Masuda A, Nakamura K, Izutsu K, Igarashi K, Ohkawa R, Jona M, Katsumi H, Yokota H, Okudaira S, Kishimoto T, Watanabe W, Koike Y, Ikeda H, Kozai Y, Kurokawa K, Aoki J, Yatomi Y. Serum autotaxin measurement in haematological malignancies: a promising marker for follicular lymphoma. Br J Haematol. 2008 ; 143 : 60-70.
- (3) Suzuki HI, Izutsu K, Watanabe T, Oshima K, Kanda Y, Motokura T, Chiba S, Kurokawa M. Late-onset pneumatosiscystoidesintestinalis associated with non-infectious pulmonary complications after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. Int J Hematol. 2008 ; 88(1) : 116-118.
- (9) Asano-Mori Y, Kanda Y, Oshima K, Kako S, Shinohara A, Nakasone H, Sato H, Watanabe T, Hosoya N, Izutsu K, Asai T, Hangaishi A, Motokura T, Chiba S, Kurokawa M. Long-term ultra-low-dose acyclovir against

- varicella-zoster virus reactivation after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. Am J Hematol. 2008 ; 83 : 472-476.
- (4) Asano-Mori Y, Kanda Y, Oshima K, Kako S, Shinohara A, Nakasone H, Sato H, Watanabe T, Hosoya N, **Izutsu K**, Asai T, Hangaishi A, Motokura T, Chiba S, Kurokawa M. Clinical features of late cytomegalovirus infection after hematopoietic stem cell transplantation. Int J Hematol. 2008 ; 87 : 310-318.
- (5) Kataoka K, **Izutsu K**, Nagai S, Hangaishi A, Motokura T, Takahashi T, Kurokawa M. Elevated Serum Levels of Soluble Interleukin-2 receptor in chronic eosinophilic leukemia / hypereosinophilic syndrome with FIP1L1-PDGFR α fusion gene. Int J Hematol. 2008 ; 87 : 440-441.
- (6) Yoshimi A, **Izutsu K**, Takahashi M, Kako S, Oshima K, Kanda Y, Motokura T, Chiba S, Momose T, Ohtomo K, Kurokawa M. Conventional allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for lymphoma may overcome the poor prognosis associated with a positive FDG-PET scan before transplantation. Am J Hematol. 2008 ; 83(3) : 284-288.
- (7) Yamaguchi M, Suzuki R, Kwong YL, Kim WS, Hasegawa Y, **Izutsu K**, Suzumiya J, Okamura T, Nakamura S, Kawa K, Oshimi K. Phase I study of dexamethasone, methotrexate, ifosfamide, L-asparaginase, and etoposide (SMILE) chemotherapy for advanced-stage, relapsed or refractory extranodal natural killer (NK)/T-cell lymphoma and leukemia. Cancer Sci. 2008 ; 99 : 1016-1020.
- (8) Suzuki T, **Izutsu K**, Kako S, Ohta S, Hangaishi A, Kanda Y, Motokura T, Chiba S, Kurokawa M. A case of adult Langerhans cell histiocytosis showing successfully regenerated osseous tissue of the skull after chemotherapy. Int J Hematol. 2008 ; 87 : 284.
- (18) Nakasone H, Kida M, Iki S, Usuki K. Lower leukocytes at initial diagnosis may predict poor outcome of very late relapse of acute lymphoblastic leukemia. Leukemia Res. 2008;32:659-664.
- (9) **Usuki K, Urabe A**, Ikeda Y, Mizoguchi H, Takaku F for Japan IL-11 Study Group. A multicentre randomized, double-blinded, placebo-controlled late phase II/III study of recombinant human interleukin 11 in acute myelogenous leukemia. Int J Hematol. 2007; 85: 59-69.
- (10) Yamashita Y, Ohashi J, Hirai Y, Choi YL, Kaneda R, Fujiwara S, Arai Y, Akutsu M, Tsutsumi C, Miyazaki Y, **Usuki K**, Teramura M, Mitani K, Kano Y, O'Neill MC, **Urabe A**, Tomonaga M, Ozawa K, Mano H. Gene expression profiles of CD133-positive fractions predict the survival of individuals with acute myeloid leukemia. Cancer Genomics & Proteomics. 2006; 3: 169-182.

〈学会発表〉

- (1) **Kensuke USUKI, Akio URABE**, Arinobu TOJO, Yasuhiro MAEDA, Yukio KOBAYASHI, Itsuro JINNAI, Kazuma OHYASHIKI, Miki NISHIMURA, Tatsuya Kawaguchi, Hideo TANAKA, Koichi MIYAMURA, Yasushi MIYAZAKI, Shinichiro OKAMOTO, Jun ISHIKAWA, Masaya OKADA, Noriko USUI, Timothy HUGHES, Susan BRANFORD, Taro AMAGASAKI, Hiroko NATORI, Tomoki NAOE A phase I/II study of nilotinib in Japanese patients with imatinib-resistant or -intolerant Ph⁺ chronic myelogenous leukemia (CML) or relapsed/refractory Ph⁺ Acute Lymphoblastic Leukemia (ALL). at : 13th Congress of the European Hematology Association ; 6. 12-15, 2008 ; Denmark.
- (2) 廣瀬貴之, 張高明, 鈴木憲史, 中川靖章, 藤澤信, **木田理子, 白杵憲祐**, 石田陽治, 谷口修一, 香西康司, 友安茂, 東原明, 安藤潔, 青木定夫, **浦部晶夫**. 血液疾患における Febrile neutropenia (FN) に対するピアペネムの有効性・安全性の検討・多施設共同研究. 於 : 第 70 回日本血液学会総会 ; 10. 10

～12, 2008 ; 京都.

- (3) **臼杵憲祐**, **浦部晶夫**, 東條有伸, 前田裕弘, 小林幸夫, 陣内逸朗, 大屋敷一馬, 西村美樹, 川口辰哉, 田中英夫, 宮村耕一, 宮崎泰司, 岡本真一郎, 石川淳, 岡田昌也, 薄井紀子, 尼ヶ崎太郎, 谷井博美, 名取宏子, 直江知樹. ニロチニブの慢性骨髄性白血病及びフィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に対する第 I/II 相臨床試験 於 : 第 70 回日本血液学会総会 ; 10.10-12, 2008 ; 京都.
- (4) 伊藤歩, 横山和明, 井上登紀子, 遠藤大, 仲宗根秀樹, 木田理子, 伊豆津宏二, 浦部晶夫, 東條有伸, 臼杵憲祐. 慢性骨髄性白血病治療中止後の細胞遺伝学的完全寛解維持例 5 例と再発例 4 例の解析. 於 : 第 70 回日本血液学会総会 ; 10.10～12, 2008 ; 京都.
- (5) 仲宗根秀樹, 伊藤歩, 遠藤大, 木田理子, 伊豆津宏二, 臼杵憲祐. 同種末梢血幹細胞移植後の体重減少と脾臓萎縮. 於 : 第 70 回日本血液学会総会 ; 10.10～12, 2008 ; 京都.
- (6) 伊豆津宏二, 遠藤大, 伊藤歩, 仲宗根秀樹, 木田理子, 臼杵憲祐. 高齢(75 歳以上)のリンパ腫患者の治療上の問題点と治療成績(ポスター). 於 : 第 70 回日本血液学会総会 ; 10.10-12, 2008 ; 京都.
- (7) 黒澤彩子, 山口拓洋, 金森平和, 山下卓也, **臼杵憲祐**, 薬師寺和昭, 竹内仁, 南谷泰仁, 柴山浩彦, 日野雅之, 森内幸美, 脇房子, 魚嶋伸彦, 藤田浩之, 高松泰, 催日承, 尾崎敬治, 松石英城, 玉井佳子, 橋野聡, 高野弥奈, 松橋佳子, 日高道弘, 永嶋貴博, 富山順治, 池亀和博, 宮脇修一, 内田直之, 神田善伸, 福田隆浩. 第一寛解期 (CR1) 急性骨髄性白血病 (AML) に対する同種移植を含めた治療に関する臨床決断分析 (中間解析). 於 : 第 31 回日本造血細胞移植学会総会 ; 2.5-6, 2009 ; 札幌.
- (8) 大島久美, 高橋強志, 森毅彦, 松山智洋, 臼杵憲祐, 森有紀, 中原史雄, 岡本真一郎, 黒川峰夫, 神田善伸. 長期少量 Valacyclovir による同種造血幹細胞移植後帯状疱疹の予防. 於 : 第 31 回日本造血細胞移植学会総会 ; 2.5-6, 2009 ; 札幌.
- (9) S. Kurosawa, T. Yamaguchi, S. Miyawaki, N. Uchida, H. Kanamori, T. Yamashita, **K. Usuki**, M. Watanabe, K. Yakushiji, S. Yano, Y. Nawa, J. Taguchi, J. Takeuchi, Y. Nakamura, J. Tomiyama, Y. Nannya, Y. Okoshi, F. Sano, H. Shibayama, M. Hino, Y. Moriuchi, Y. Kanda, T. Fukuda Comparison of allogeneic hematopoietic cell transplantation (HCT) and chemotherapy in adult patients with non-M3 AML staying in CR1: A retrospective nation-wide survey. at : 35th Annual Meeting of the European Group for Blood and Marrow Transplantation ; 3.29-4.1, 2009 ; Sweden.
- (10) 廣川誠, 澤田賢一, 藤島直仁, 河野文夫, 木村昭郎, 渡辺隆, 新井文子, 松井利充, 中尾眞二, **浦部晶夫**, 小峰光博, 小澤敬也. 悪性リンパ腫に合併した赤芽球癆の臨床病理学的特徴 : 特発性造血障害調査研究班による全国調査報告. 於 : 第 70 回日本血液学会総会 ; 10.10-12, 2008 ; 京都.
- (11) 藤澤信, 中川靖章, **浦部晶夫**. Febrile neutropenia に関する多施設共同研究-ピアペネムの FN に対する臨床的検討-. 於 : 第 57 回日本感染症学会 東日本地方会学術集会, 第 55 回日本化学療法学会 東日本支部総会 ; 10.23-24, 2008 ; 埼玉.
- (12) 仲宗根秀樹, 浅野大樹, 中村文彦, 木田理子, 壹岐聖子, 臼杵憲祐. 単施設における t(8;21)AML の化学療法および自家移植の治療成績と予後因子. 於 : 第 69 回日本血液学会総会・第 49 回日本臨床血液学会総会 : 合同総会 ; 10.11-13, 2007 ; 横浜.
- (13) 臼杵憲祐, 田岡和城, 仲宗根秀樹, 浅野大樹, 中村文彦, 木田理子, 伊豆津宏二, 浦部晶夫, 杉山彩子, 町田徹, 中川雅之, 大瀬戸清茂. 造血器腫瘍による脊椎の圧迫骨折の疼痛に対する経皮的椎体形成術. 於 : 日本骨髄腫研究会総会 ; 11.10, 2007 ; 東京.
- (14) 宗根秀樹, 中村文彦, 木田理子, 伊豆津宏二, 臼杵憲祐. 単施設における AML1/MTG8 陽性 AML の化学療法および自家移植の治療成績. 於 : 第 30 回日本造血細胞移植学会総会 ; 2.29-3.1, 2008 ; 大阪.

頭頸部がん

〈論文発表〉

- (1) 名生邦彦. Stage I - II 口腔扁平上皮癌における潜在的頸部リンパ節転移予測因子の同定. 口腔病学会誌 2006;73(1) : 100 - 106.
- (2) 名生邦彦, 鶴澤成一, 宮本亮三, 鈴木鉄夫, 天笠光雄. : FNA-FISH 法による口腔扁平上皮癌における EGFR 遺伝子の数的異常の解析. 口腔外科学会誌 2006;52(12) : 684 - 688.

〈学会発表〉

- (1) 名生邦彦, 鶴澤成一, 宮本亮三, 天笠光雄. 口腔扁平上皮癌における p16 遺伝子異常パターンの解析. 於 : 第 30 回日本頭頸部癌学会総会 ; 6. 15, 2006 ; 大阪.

放射線治療

〈論文発表〉

- (1) 馬場貞明, 中西雄一, 尾本恵里, 豊田達也, 若松 修, 町田 徹. ガンマナイフC型とB型の臨床における比較検討. 日本放射線技師会雑誌. 2007 ; 12 : 57-61.

〈学会発表〉

- (1) 豊田達也, 寺原敦朗, 中川恵一, 馬場貞明, 中西雄一, 青木幸昌. 骨転移の治療計画内容の検討. 於 : 日本放射線腫瘍学会第 21 回学術大会 ; 10. 16-18, 2008 ; 札幌.
- (2) 豊田達也, 寺原敦朗, 中川恵一, 馬場貞明, 中西雄一, 青木幸昌. 放射線照射後の下顎骨骨髄炎についての検討. 於 : 第 20 回日本放射線腫瘍学会 ; 2007/12/12 ; 福岡.
- (3) 馬場貞明, 中西雄一, 尾本恵里, 豊田達也, 若松修, 町田徹. ガンマナイフC型での標的体積被覆率の検討. 於 : 第23回放射線技師総合学術大会, 6. 10, 2007 ; 金沢.

化学療法

〈論文発表〉

- (1) 岡澤美貴子, 鈴木麻由香, 本田麻子, 坂田修一, 折井孝男. がん薬物療法における薬剤師による処方鑑査の有用性. 医療薬学. 2008 ; 34 (6) : 586-592.

〈学会発表〉

- (1) 鈴木麻由香, 佐藤美佳, 岡澤美貴子, 坂田修一, 折井孝男. 外来化学療法業務における薬剤師側から見た連携向上への取り組み. 於 : 日本医療マネジメント学会第 9 回東京地方会学術集会 ; 2. 7, 2009 ; 東京.
- (2) 岡澤美貴子, 折井孝男. デュロテップパッチによる疼痛コントロール状況と血清アルブミン値. 於 : 第 3 回 日本緩和医療学会 ; 06. 23, 2007 ; 岡山.
- (3) 清水幸雄, 金子真佐美, 中島克佳, 折井孝男, 鈴木洋史. がん化学療法における骨髄抑制対策の実際. 於 : 第 9 回医療マネジメント学会 ; 07. 13-14, 2007 ; 東京.
- (4) 岡澤美貴子, 坂田修一, 近藤忠男, 折井孝男. がん化学療法におけるレジメン管理への薬剤師の関わりと処方鑑査. 於 : 第 9 回医療マネジメント学会 ; 07. 13-14, 2007 ; 東京.
- (5) 坂田修一, 近藤忠男, 岡澤美貴子, 折井孝男. 当院における抗がん剤調整の実際 - 安全に対する薬剤師の取り組み -. 於 : 第 9 回医療マネジメント学会 ; 07. 13-14, 2007 ; 東京.
- (6) 岡澤美貴子, 坂田修一, 折井孝男. がん化学療法における処方鑑査の有用性. 於 : 第 17 回日本医療薬学会年会 ; 09. 29-30, 2007 ; 群馬.
- (7) 岡澤美貴子, 坂田修一, 近藤忠男, 折井孝男. がん化学療法におけるレジメン管理

への薬剤師の関わり. 於: 日本医療マネジメント学会東京地方会学術総会; 2. 25, 2007; 東京.

- (8) 石原照夫. 抗がん剤オーダ時のレジメン機能. 於: 第9回日本医療マネジメント学会学術総会; 7. 14, 2007; 東京.

緩和ケア

〈論文発表〉

- (1) 須佐仁美, 折井孝男. 癌性疼痛治療にオピオイドを定期使用する患者のレスキュードーズにおける問題点～腎障害時を中心に～. 日本病院薬剤師会雑誌. 2009; 45 (2): 221-224.
- (2) 岡澤美貴子, 折井孝男. フェンタニルパッチ投与における血清アルブミン値モニタリングの有用性. 日本緩和医療薬学雑誌. 2008; 1 (2): 53-58.
- (3) 堀 夏樹, 中尾正寿. 緩和ケア標準化ツールとしてのクリティカルパス. 緩和医療学. 2007; 9: 111-122.
- (4) 堀 夏樹, 中尾正寿, 高山昭子, 田中久仁子. 看取りのクリティカルパスの検討. 日本医療マネジメント学会誌. 2007; 4: 494-499.
- (5) 大塚裕一, 堀夏樹, 中尾正寿, 小西敏郎. 終末期におけるPCUの役割—電子カルテ版看取りのパスの運用を中心に. 癌の臨床. 2007; 53(3): 167-170.
- (6) 堀 夏樹, 鈴木荘一, 秋山修他. 緩和ケアにおける療養先の選択肢拡大を目指したネットワークづくり. 緩和ケア. 2006; 5: 224-228
- (7) 堀 夏樹, 中尾正寿, 佐藤昭子, 中橋和子, 小西敏郎. 看取りのクリティカルパスの作成と導入. 医療マネジメント学会雑誌. 2006; 6: 608-613.
- (8) 小澤桂子. 緩和的化学療法における患者・家族への看護援助. 緩和ケア. 2007; 17 (1): 30-34.

〈学会発表〉

- (1) 中尾正寿, 高松靖子, 田中久仁子, 堀夏樹. 看取りのクリティカルパス第2版の作成. 於: 第9回 日本医療マネジメント学会学術総会; 7. 13, 2007; 東京.
- (2) 中尾正寿, 石井仁乃, 佐藤昭子, 高松靖子, 中橋和子, 堀 夏樹. 看取りのクリティカルパスの効果と課題. 於: 第8回医療マネジメント学会学術総会; 6月17日, 2006 横浜
- (3) 須佐仁美, 金井明子, 杉浦宗敏, 中島克佳, 折井孝男, 鈴木洋史. オピオイド製剤を使用する癌性疼痛患者のレスキュードーズにおける問題点—腎機能障害時を中心に—. 於: 日本病院薬剤師会関東ブロック 第37回学術大会; 08. 25-26. 2007; 栃木.
- (4) 岡澤美貴子, 折井孝男. フェンタニルパッチを用いた疼痛コントロールにおける栄養評価の臨床的意義. 於: 第45回日本癌治療学会総会; 2007; 10. 25-26, 京都.